

7月28日に参議院議員が任期満了を迎えるにあたり、第25回参議院議員通常選挙が7月21日に予定されています。消費税増税や平和・憲法問題のほか、子育て支援、「老後2千万円不足」問題などが争点になると見られています。5月18日開催の教宣活動者会議に参加された皆さんに、参院選に向けて各自が望むことを書いていただきました。

社会保障は悪くなるばかり

消費税10%は中止に

【渋谷・看板・加藤行夫通 信員】消費税はすべて社会保障に使う、として導入されて30年。この間、社会保障は良くなったのか。

健康保険料は年々値上げ。介護保険制度が創設され、40歳になれば強制的に保険料が徴収されるのに、「保険あつて介護なし」と言われる。そ

して、年金の支払いは順次引き上げられ、給付は物価スライドで引き下げられる。こんな状態で消費税の増税は絶対に反対で中止してほしい。

憲法9条に自衛隊を軍隊に変える項目を入れることは、日本のみならず、世界の公約違反だ。今、国民は憲法を

社会的弱者の声届くよう 増税反対候補に投票



安立さん

【小平東 村山・塗装・安立孝章 通信員】この夏の参議院選挙には消費税増税に反対する候補者に投票したい。

【小平東 村山・塗装・安立孝章 通信員】この夏の参議院選挙には消費税増税に反対する候補者に投票したい。

高額商品を多数買える消費者を喜ばせ、ますます格差を拡大させるだけだ。これまでの消費税の増収分は37%から29%に下げられた法人税とほぼ同額に近い。内

変な世の中を正さねば

私達の一票に責任



本山さん

【台東・主婦・本山美知子 通信員】我が家の家計は、日増しに冷え込んできている。安倍政権は、ゆるやかに経済は上向きになってきている

と報道していたが、今年に入って訂正をしている。国民はとうとう実感していた。

街全体を見てても活気がない。高齢化が進み、年金生活者が増えて生産量も消費量も減退、外国人観光客に委ねている。変な世の中になってしまったのがあいつがわりになってしまった。参院選挙が行なわれる。

私たちが参議院選挙に望むこと

税金は軍事費に使わず

国民の命のために



加藤さん

【中野・主婦・浜崎菜央子 記】平和問題、子どもの将来、社会保障、増税、年金と生活しづらい社会にならないために重要な選挙だと思います。

私は4年前、原水禁世界大会に参加し、一瞬で沢山のものを失った恐ろしさ、戦争の憎らしさを知り、絶対に戦争に行かせないと思いました。

そして税率が0.3→0.5→8%と上がるにつれ仕事は減り、生活はどんどん不安定です。安定しないと結婚、出産、通院なども難しいと思います。



浜崎さん

政治家は口先だけでなく 庶民の味方になって

【西多摩 大工・川嶋隆広通信員】正直誰に投票しても変化はないと思います。

私は東京の郊外に住んでいてオリンピックの需要で仕事に忙しいなどの声



川嶋さん

もありませんが、それはごく一部の大手企業だけだと思います。郊外では、オリンピックのオの字もありません。実際オリンピックが始まったらわか

建設業も週休2日にしよう

と話も出ていますが、個人としてや一人で仕事をしている人にとっては、週休2日にな

美容院で政治談議

若者の関心を高めたい

【豊島・主婦・野本陽子通信員】先日行きつけの美容院で、カットをしてくれている若美容師が、消費税は本当に10%になるのかな、納めた税金が正しく使われるならいいのだけど、というのを聞き、とてもうれしくなりました。

今、政治に無関心な若者が多いなか、消費税の使い道について考えているよ



野本さん

【江東・美装工・油屋正孝 通信員】統一地方選も終わり、国政選挙に話題が集中している。各党・会派は競って政策を掲げている。野党は、

建設労働者にとつての 生活を重視し投票



師岡さん

【世田谷・タイル・師岡英夫通信員】参議院は、良識の府と言われ、二院制内閣においてチェック機能の役目を持っていると言われている。

皆が安心して暮らせる 新しい時代を強く望みます



茶本さん

【三鷹武蔵野・主婦・茶本百合子通信員】憲法9条の改正が、取り沙汰されました。憲法9条は、戦争を二度

【三鷹武蔵野・主婦・茶本百合子通信員】憲法9条の改正が、取り沙汰されました。憲法9条は、戦争を二度



油屋さん

【江東・美装工・油屋正孝 通信員】統一地方選も終わり、国政選挙に話題が集中している。各党・会派は競って政策を掲げている。野党は、

共闘組織を作り、安倍政権を追い詰めるようだ。

自由と民主主義が壊される中、平和な日本の維持が、戦争する国作りに加担するのか。

民意を無視する安倍政権への猛省を促す大事な選挙戦、もう一度よく考えてみよう。

東京の中心に米軍施設があり、横田・厚木・座間・横須

【江東・美装工・油屋正孝 通信員】統一地方選も終わり、国政選挙に話題が集中している。各党・会派は競って政策を掲げている。野党は、

共闘組織を作り、安倍政権を追い詰めるようだ。

自由と民主主義が壊される中、平和な日本の維持が、戦争する国作りに加担するのか。

民意を無視する安倍政権への猛省を促す大事な選挙戦、もう一度よく考えてみよう。

東京の中心に米軍施設があり、横田・厚木・座間・横須

しかし、現政権下では参議院としての機能は働いていないとは思われない。今度の選挙で望むことは、衆参両院が互いに緊張感を持って議論できる状況になってもらいたい。

また、内政・外交と様々な問題があるが、私たち建設労働者にとって日々の生活・労働環境を重視して投票したい。

大きな災害や事件も多かった平成ですが、いろいろな国のたぐさんの人々に支えられました。

令和では今よりも高齢者から子どもまで安心して暮らすことができる、新しい時代を強く望みます。

賀各米軍基地により、日本の空は支配されている。いわゆる横田空域だ。横田空域に限らず、米軍に対しては、何も言えない日本政府。これで独立国家と言えるだろうか。

日米地位協定の改定を強く望む。民主主義を守り、発展させる政治のために、共に抗う議員を選びたい。